



れい めい  
黎明

千葉大学  
教育学部  
附属中学校  
学校だより  
第8号  
2015(平成27)年3月11日(水)

## ご卒業おめでとございます

卒業生のみなさん、ご卒業を教職員一同、心よりお祝い申し上げます。みなさんが本校に入学したのは、あの3.11の地震と津波がわが国を襲った東日本大震災の翌年でした。震災から1年たっていたとはいえ、復興の兆しもいまだ見えず、先行きの不安なままに中学校生活をスタートしたことと思います。

それから3年がすぎ、その間にもみなさんは大きく成長し、今また次のステージへと巣立っていくところです。私の校長任期は5年であるので、入学から卒業までを見届けられる学年は、3学年しかありません。そういう意味でも、ここにみなさんを見送るということには、たいへん感慨深いものがあります。

卒業という形で節目を刻むということには、多くの意味が込められていると思いますが、やはり区切りをもって振り返り、自分自身を見つめよということであろうと思います。勉学ということでも、その意味をここで見つめ直してほしいと思います。

卒業式でうたわれる「螢の光」は、もともと「螢雪の功」という中国の古い故事に基づいた言葉です。昔の中国、晋の時代に、車胤と孫康という二人の若者がいました。二人の家はともに貧しく、ランプの油を買うお金もありません。そこで、車胤は、夏の夜に、絹の袋に数十匹のホタルを入れ、その明かりで本を照らし、勉強した、また、孫康は、冬の夜に、窓辺に積もった雪を集め、それを明かりにして勉強したというのです。その努力の甲斐があり、二人は後に、国にとってたいへん重要な人物になったという話でした。「螢雪の功」とは、苦勞して一生懸命勉強し、志を遂げることのたとえであり、また、どんなに厳しい条件下であろうと、勉学に励んでこそ、成功があるという教訓でもあります。どうか、自らをふりかえり謙虚に学び続けること、向上心を抱き切磋琢磨すること、知識と真理を追い求めること、正しく認識し、思考し、判断する力をつけるよう努力することを心に刻んでいってください。

保護者のみなさまには、この3年間、本校に寄せていただいたご理解とご支援に、心より感謝申し上げます。来月18日(土)には、本校の統合50周年記念式典を計画しています。卒業生だけでなく、ご家族の方々も参加いただけたらたいへんありがたく存じます。

平成27年3月11日

千葉大学教育学部附属中学校長 伊坂 淳一

## 平成26年度 離任式について

本校を転出する先生方とお別れの日です。1、2年生は勿論ですが、卒業生も式に参加となります。日程は以下の通りです。卒業生に関しては他学年と登校方法、時刻が異なりますのでご注意ください。尚、転出される先生方に関しては3月26日前後の新聞報道にてご確認ください。

\* 卒業生には、当日卒業式のミニアルバム及び、統合50周年記念誌を配布します。

◎日 時：3月31日(火) 9:10～9:50

◎場 所：千葉大学教育学部附属中学校 体育館アリーナ

◎日 程：・登 校 ( 8:15)

・H R ( 8:15～ 8:25)

・清 掃 ( 8:30～ 8:50) ※本年度卒業生登校(8:45～)生徒昇降口より

・入 場 ( 8:55～ )

・離任式 ( 9:10～ 9:50)

・H R (10:00～10:20) ※本年度卒業生は合同H R後、下校となります。

・下 校 ( ～11:00)

◎その他：・在校生、卒業生ともに式典にふさわしい服装、姿勢(心構え)で参加してください。

・保護者の方々も参加頂けます。保護者の方々及び本年度以外の卒業生の皆さんは、生徒昇降口受付をお通りください。